

## 2025年度 流域圏担い手づくり事例集について

'25. 8. 1 豊田市矢作川研究所 洲崎燈子

## 【これまでの事例集づくりについて】

- ・ 中山間地の活性化を進め、過疎化や少子高齢化問題を解決に導く糸口として、持続可能な流域作りに関わる102団体に取材を行い、2013～2016年度にかけて4冊の「山村再生担い手作り事例集」と、2017～2018年度にかけて2冊の「流域圏担い手づくり事例集」を作成した。
- ・ 2019～20年度は事例集づくりを休止し、流域圏懇談会10年誌を作成。
- ・ 10年誌をつくったことで、都市を巻き込んだ流域圏づくりの必要性が認識されるようになり、2021年度以降の事例集は複数の方の取材・寄稿により、ひとつのテーマの立体像を描く様式に変更。2021年度は学童保育木造化プロジェクト、2022年度は錦二丁目都市の木質化プロジェクト、2023年度は伊勢湾・三河湾の豊かさ、2024年度は流域総合水管理をテーマに事例集を作成した。
- ・ 2017～19年度および2023～24年度には、主に前年度の事例集づくりでできた人のつながりを深め、広めることをめざして「事例集交流会」を開催。

## 流域圏担い手づくり事例集



山村再生担い手づくり事例集  
山村再生担い手づくり事例集  
山村再生担い手づくり事例集

◆事例集のミッション

- ① 現場に行って、直接、現場の人たちの苦悩や喜びや課題に触れる  
→ 生の声を引き出す！
- ② その生の声をみんなで共有しよう！  
→ 報告集に取りまとめ、流域圏懇談会のホームページにアップ
- ③ 課題をあぶり出す  
→ 集い、知恵の交換をする



6冊目までは中山間地振興や川や海的环境保全に関わる活動を行う団体への取材記録を掲載。  
7冊目からは山、川、海だけでなく、都市を巻き込んだ流域圏づくりにつながるプロジェクトを取材対象に。



矢作川流域圏担い手づくり事例集III



流域圏担い手づくり事例集IV



流域圏担い手づくり事例集V



流域圏担い手づくり事例集VI-1

## 【2025年度の事例集】

- ・ 前年度の事例集IV-Iでは、公開講座の記録を中心に「流域総合水管理」の考え方をわかりやすく紹介した。2025年度は伊勢・三河湾流域圏で流域総合水管理の実現につながると考えられる活動を行っている団体に取材を実施し、レポートを作成して事例集IV-IIとしてまとめる。
- ・ 事例集交流会は2026年度に2冊の事例集分をまとめて開催する。

## 2025 流域圏担い手づくり事例集VI-2 流域圏大学構築に向けて

流域圏		テーマ	取材先	Person	優先順位	備考
山	根羽村	森とまちの流域学	根羽村（村長）	大久保 憲一		
		山地酪農	根羽村森林組合	大久保 裕貴		
			ハッピーマウンテン	幸山 明良	○	
	恵那・岩村	終活／ニワケンという生き方	百経	丹羽 健司		
	豊田・旭	関係人口・自治（農業・林業）	しましまの家／自給家族	鈴木 辰吉	○	
		百姓／戸田友介という生き方	つくらっせる	戸田 友介	○	
流域・世代を繋ぐ新時代の観光業		三河の山里サポートデスク	鈴木 孝典	○	おいでん	
豊田	流域（山・森）への入口	女子よ 森へ行こう！	宇角 佳笑	○		
川	豊田	流域（川）への入口	豊田市矢作川研究所	宮田 昌和	○	天然アユ調査会 矢作川水族館 河川愛護団体 ふるさとの川づくり団体など含めて
		／山～川まで流域を繋ぐ	／30年の流域資産	洲崎 燈子		
		流域データの構築	森の健康診断	吉橋 久美子		
岡崎	／ふるさとの川づくり	／市民を繋ぐ	ONE RIVER	岩ヶ谷 充		
海	蒲郡	流域（海）への入口	NPO シーブリーズ	永田 桂子	○	伊勢湾再生推進会議海域検討会 榎並万里子さま
山	天龍村	関係人口・自治（祭りを通して）	山の民のまつり	村人たち	○	渡邊美里ら 取材は学生たちに
流域担い手	伊勢湾流域	若者たちの流域圏への入口 地域と向き合う担い手づくり	地域の未来・志援C 「未来創造プログラム」	三ツ松 由有子	○	
担い手	鈴鹿川流域	世代・流域を繋ぐ	魚と子どものネットワーク	新玉 拓也		
海	庄内川流域	世代・流域を繋ぐ 海の入口として	藤前干潟 ガタレンジャー 藤前干潟を守る会	戸前 辰弥	○	庄内川流域圏大学として
流域担い手	伊勢湾流域	流域データの構築 流域（人材等）を繋ぐ	中部流域連携NW + 愛知・川の会等	近藤 朗		寄稿で十分か



藤前干潟ガタレンジャー